

# 戦前竣工の京都市児童公園群

岡田 昌彰 正会員 近畿大学 理工学部 社会環境工学科 教授



写真1 紫野柳児童公園のラジオ塔

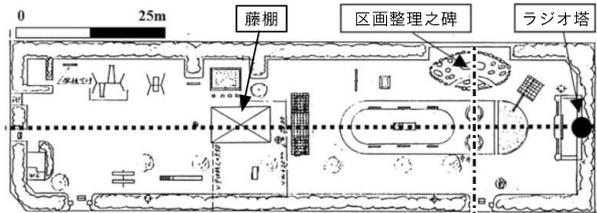


図1 北区紫野柳児童公園の平面図(京都市所蔵の平面図に筆者加筆)

## 京都市における児童公園

京都市内に特徴的な児童公園が現存している。1905(明治38)年の五条児童公園を皮切りに大正末の都市計画土地区画整理施行を経て、終戦までに55件が逐次整備されていく。

筆者らは2006年より悉皆調査<sup>(1)</sup>に着手し、その特徴を明らかにした。うち13件が、現在も竣工当初の特徴を明確に残していることが分かった。

## 空間構成とヴィスタ

昭和初期の区画整理事業によって造成された閑静な住宅街にある紫野柳児童公園。矩形敷地内の東西方向の中心線(図1の点線)は西入口から藤

棚、円形植込対と半円形砂場の中心線を経て公園東端の特徴的なラジオ塔(写真1)に達している。さらに南入口から植込対を通る軸線(一点鎖線)は区画整理之碑の中心線に一致する。これによって、ラジオ塔や碑をアイストップとしたヴィスタを形成。さながら平面幾何学式庭園を小公園で実現させたような空間構成だ。

ラジオ塔、花壇対、水飲み場などの組み合わせによる軸線を周辺街路に一致させるなど、さまざまな工夫によってヴィスタが各公園で形成されている。東京の震災復興公園もこれに似た空間構成を持つが、小野の指摘する「所謂『奥』へと入込む空間」は、ここ京都でも具現化されていたのだ。

東端の尖塔アーチ形ラジオ塔は、アールヌーヴォー調の金具を持つ矩形

### OKADA Masaaki

1991年東京工業大学土木工学科卒。専門は景観工学、土木史。著書に「テクノスケープ」「日本の磁都」「美しい英国の産業景観」等。日本都市計画学会石川奨励賞、日本造園学会賞等を受賞。



諸元 (選奨対象となった児童公園)

1 紫野宮西	竣工年 1935年 面積 1,854㎡ 所在地 北区紫野宮西町21
2 紫野柳	竣工年 1935年 面積 2,928㎡ 所在地 北区紫野柳町49
3 小松原	竣工年 1939年 面積 2,948㎡ 所在地 北区小松原北町120
4 橘	竣工年 1939年 面積 6,119㎡ 所在地 上京区智慧光院通笹屋町下橘町
5 下鴨森が前	竣工年 1935年 面積 1,798㎡ 所在地 左京区下鴨西高木町
6 下鴨膳部	竣工年 1935年 面積 2,078㎡ 所在地 左京区下鴨東梅の木町
7 高原	竣工年 1938年 面積 3,538㎡ 所在地 左京区田中西高原町
8 地藏本	竣工年 1938年 面積 2,287㎡ 所在地 左京区一乗寺地藏本町
9 萩	竣工年 1940年 面積 4,218㎡ 所在地 左京区下鴨萩ヶ垣内町
10 西ノ京	竣工年 1939年 面積 4,458㎡ 所在地 中京区西ノ京笠殿町
11 六条院	竣工年 1942年 面積 2,317㎡ 所在地 下京区高倉通五条下る
12 比永城	竣工年 1938年 面積 1,966㎡ 所在地 南区西九条比永城町
13 南部	竣工年 1942年 面積 2,619㎡ 所在地 伏見区南部町



写真2 各児童公園のラジオ塔  
(左：北区小松原児童公園、中：上京区橘児童公園、右：左京区萩児童公園)



写真3 竣工記念碑を兼ねた水飲み場 (左：左京区高原児童公園)、  
特徴的な掲揚台 (右：左京区下鴨森が前児童公園)

の窓と円形のへこみを持つ(写真1)。直下のベンチの蛇腹と丸窓は表現主義建築の意匠を思わせる。地元の古老いわく、戦前はここでラジオ体操も行われていた。他3公園に現存するラジオ塔の形態は切妻屋根や方形屋根など実に多彩だ(写真2)。

各公園では、門柱、水飲み場、掲揚台にも丸窓や雁行線が施されている(写真3)。また、地元町内会の管理する地藏堂に加え、かつて園内には防火水槽を兼ねたプールも設置されていた(注2)。児童公園は情報拠点であると同時に、祭事や地域行事の場としての役割も果たしていたのだ。

### 先人の感性と現代への継承

造形と空間構成の秀逸な遊びに

よって形成された、個性的な景観。そこには、街と公園との一体化を図る先人の豊かな発想力も強くしのばれる。今後これらの特徴を尊重した改修が市によって進められる予定だ。

先人の研ぎ澄まされた感性に直接触れるべく、より多くの人々に足を運んでいただければと思う。選奨を契機として、身近な宝の存在が社会に広く理解されていくことを期待したい。

(注1) 時計の格納箇所と推測される。  
(注2) 京都市土木局庶務課、京都市の公園、1940年

#### 参考文献

- (1) 岡田昌彰、藪内慎太郎・昭和初期に竣工した京都児童公園の空間構造に関する研究、ランドスケープ研究、Vol.71、No.5、2008年
- (2) 小野良平・震災復興期に至る公園設計の史的展開について、造園雑誌、Vol.53、No.5、1990年

(担当編集委員・澤村秀治)

